

民衆の声
ボイス

No.103

公明党 横浜市会ニュース

VOICEよこはま

<http://www.yhkomei.com/> E-mail:shikai@yhkomei.com 公明党横浜市会議員団 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 TEL 671-3023 FAX 681-2060

公明党市議団の要望が実現へ！

「横浜市中期計画2022～2025」を策定

「子育てしたいまち・次世代を共に育むまちヨコハマ」を基本戦略とした4年間の計画である「横浜市中期計画2022～2025」が基本計画特別委員会で審査され、可決成立しました。公明党横浜市議団が要望してきた数々の政策が、大きく市の中期計画に反映されました。

■小児医療費を完全無償化 中3まで所得制限撤廃

《小児医療費助成の拡充へ 公明党市議団の歩み》

- 1992年 横浜市会で初めて無料化を提唱
- 1995年 0歳児の通院・入院が無料化
- 2007年 就学前児童まで対象を拡大
- 2012～17年 小1→小6まで対象を拡大
- 2019年 中3まで対象を拡大
- 2021年 1、2歳児の所得制限を撤廃

令和5年度予算案に反映



本年8月から中学3年生までを対象に所得制限および一部負担金を撤廃し、完全無償化となります。

■全ての生徒へ栄養バランスの整った給食を提供

中学校給食の更なる拡充へ



令和5年度予算案に反映 “ふた”をあけるワクワクの毎日。

- 全員給食に向けて、設計50校、工事25校について配膳室の整備を行う。
- 喫食率アップの取り組みを強化する。



市民・文化観光・消防委員会
委員長
デジタル化推進特別委員会
戸塚区選出
中島みつのり

令和4年 第4回定例会における論戦より

子ども食堂を含む地域における子どもの居場所の光熱水・食材費の高騰に対する支援は、資金面において有効な対応であり重要です。この支援金を広く知つていただき、活用していただけよう、周知・広報をしっかりと進め細かく進めていくべきであると市長に質問しました。

市長は、「より多くの団体に申請いただくためには、丁寧に周知を進めていくことが重要であり、市ホームページや広報よこはまなどに掲載するとともに、地域の状況を把握している社会福祉協議会や区役所等を通じて、積極的な周知に努めていく」と答弁しました。



出産・子育て応援交付金事業

政府の「総合経済対策」において、妊娠から出産・子育てまでの一貫した伴走型相談支援と併せ、現状、支援が手薄と考えられる出産前後と0～2歳児に対する経済的支援を「出産・子育て応援交付金事業」として行つことが決定しました。公明党が発表した「子育て応援トータルプラン」を前倒し実施するものでした。

市長は「経済的理由により子を持つことを躊躇する方が少なくないなかで経済的負担を軽減することは重要」と答弁しました。

最近はお子さんに障がいがある、もしくは障がいがあるかもしないがどうしたらよいか、と不安や悩みを抱えている声を聞く機会が増えており、地域療育センターで実施する保護者支援の今後の方向性について質問しました。

市長は「保護者の不安や悩みを解消するため、親子での遊びを通じて、専門職がお子さんの特性を踏まえ、関わり方のアドバイスを行う「ひろば事業」を充実させるなど、保護者支援の一層の拡充を図つていく」と答弁しました。

引き続き、発達障がい児支援に尽力して参ります。

発達障がい児への支援

人がつながり、地域を活性化させるため、自治会町内会負担を軽減していく取り組みについて質問しました。

市長は「自治会町内会の若い世帯や単身世帯の方が加入しない理由の一つに、「会長とか役員をさせられると負担が増える」ということを懸念されていると聞いている。市内284の単位町内会の会長にアンケート調査を行ない、実態を把握した上で早急に対策を検討する」と答弁しました。

市民相談

お気軽に何でも
ご相談下さい

横浜市会議員(戸塚区選出)
中島みつのり

ご意見・ご相談はお気軽に

TEL.045-410-6307 FAX.045-410-6308
(ホームページ) <http://nakajima-mitsunori.com/>

光熱水費・食材費に対する支援を

子ども食堂を含む地域における子どもの居場所の光熱水・食材費の高騰に対する支援は、資金面において有効な対応であり重要です。この支援金を広く知つていただき、活用していただけよう、周知・広報をしっかりと進め細かく進めていくべきであると市長に質問しました。

教育長は「令和5年度から、市立横浜総合高校に在籍する生徒を対象に通級指導を開始し、6年度からは全市立高校に拡大し、巡回型の通級指導、特別支援学校の他校通級を開始する予定」と答弁しました。

令和3年の一般質問で、特別な支援が必要な高校生に対して、中学校からの支援の接続の課題や高校進学後の学習面・生活面の課題、その先の就職支援の重要性について質問し、取り組みの拡充を要望しました。

市立高校での通級指導が実現へ

一般質問



公明党の主張が令和5年度予算案に大きく反映しました！

1.子育てに安心を

出産子育て応援金



- 出産・子育て応援金
妊娠・出産時にそれぞれ**5万円**(合計10万円)支給
※令和5年2月1日、実施開始！

出産育児一時金



- 子育て世代包括支援センターの機能強化
- 医療的ケア児等の受け入れ環境整備
- 伴走型相談支援の充実
- 放課後の居場所づくりの充実・子育て住まいサポート
- 一時保育、病児・病後児保育の充実
- ひとり親家庭等自立支援(子ども食堂、フードバンク)

2.暮らしの安心へ

認知症支援事業

認知症疾患医療センターの充実、若年性認知症支援、スローショッピングの普及・啓発



地域防犯カメラの設置を大幅増加

100台から
150台に



- 帯状疱疹ワクチンの定期接種化に向けた調査
- 各種がん検診の受診率向上に向けた取組
- 新たな介護人材の確保、定着支援
- お悔やみ窓口の設置検討
- ヤングケアラー支援の充実
- ひきこもりなど困難を抱える若者支援(SNS相談窓口)

3.災害への備えを

学校体育館へのエアコン設置を加速

令和元年～4年度まで
エアコン・大型冷風機を89校に設置

令和5年度は
エアコン28校、大型
冷風機は希望校へ！

防災アプリの本格運用



- 避難行動計画「マイ・タイムライン」の周知・作成支援
- 木造住宅・マンションの耐震化支援
- 雨水幹線の整備、がけ地の安全対策

4.地域交通の充実へ

敬老特別乗車証(敬老パス)の維持



地域の総合的な移動サービスを検討



コミュニティバス 四季めぐり号

5.教育環境の充実へ

教育の充実 グローバル



学校のエレベーター設置



- 不登校児童生徒への支援拡充
- 計画的な学校建替え

政務活動最前線

AI活用による交通調査

1月31日、市議団は、AI解析による交通調査を視察しました。

この調査は、交差点の混雑状況を動画で撮影後、AIによる映像解析を行うことで、課題を可視化(数値化)し交差点の安全確保の取組に繋げます。



ウクライナ避難民のサッカー選手を支援

2月3日、市議団は、横浜市に避難してきたウクライナ避難民のサッカー選手・ヤリクさんと面会しました。

ヤリクさんは市議団の橋渡しにより、市内で活動するプロサッカーチーム「横浜FC」の下部組織「アカデミー」に在籍することができ、練習に励んでいます。

